

✿ 富雄南中学校区

めざす子ども像

- 学びを大切にする園児児童生徒
- 仲間を大切にする園児児童生徒
- 命を大切にする園児児童生徒

▶ 富雄南中学校区 地域教育協議会

<p>地域・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年度に続き新型コロナ禍の中、お互いの表情が見えない環境で、様々な取り組みに大きくブレーキがかかっている。特に幼児教育における育成に大きな課題を抱えている。 • 家庭環境だけでなく、様々な場面で子どもたちの自然体験不足、体力の低下、コミュニケーション不足が課題となっている。 • 子どもたちが積極的にボランティア活動に取り組む姿が見えてきているが、やはりコロナ禍において機会が奪われている。 • 地域、各団体、学校、保護者が各校園の環境整備や見守り活動を熱心に取り組んでいる。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>自ら考え行動する力の向上。 人との繋がりを大切にし、コミュニケーション能力の向上、学力の向上。 思いやりや、挨拶ができる能力を身に着ける。</p>
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもに豊かな心と生きる力のもととなる確かな学力を育むために、地域の人材を活用し、読書活動や体験学習、英語・情報・特別支援教育の充実を図る。 • 地域が一体となった安全・見守り活動の促進。 • 地域学校協働活動の取組を活用し、身近なお兄さんお姉さんと一緒に児童・生徒がアイデアを出し合い、仮称「学びフェスタ」の企画立案から運営までを行う。（できればオンライン会議の実施） • 各校園一斉「花いっぱい運動」の展開。 • 中学生、小学生のボランティア活動（とみにゃんクラブ・とみにゃんkids）を通して、自ら考え行動する力や、異年齢との繋がり、地域の方との交流。



▶富雄南中学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本校では「一人一人が輝き、夢と誇りの持てる美しい学校」づくりをめざしており、その目標のもと、生徒会からあいさつ運動やクリーンキャンペーンの呼びかけがなされる等、諸活動にポジティブに動く子どもたちの姿がみられる。また、地域と交流・協働する機会があれば、生徒会やとみにゃんクラブ、部活動部員として、積極的に参加しようとする姿勢がある。教育熱心な家庭が多いため、学習意欲の高い子どもが多いが、コミュニケーションや自己表現という面は苦手な子どもが多い。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>自ら考え、その考えや思いをうまく言語化し伝えることができる力 自分の将来像を描き、進路獲得に必要な学力を身につけ自己実現していく力 自他を大切にし、他人の話を聞き、周りの人とのつながりや思いやりを感じて自ら行動できる力</p>
<p>取組内容</p>	<p>生徒会・学級活動や地域に開かれた学校行事、地域の協力のもと行う環境整備や地域行事参加等、子どもたちが積極的に参画できる場を設けることで、『自分・他人・地域を尊重する心』および『伝える力、聴く心』のもと、周りの状況に応じた判断をし、自主的に行動できる子どもたちを育てる。</p>



▶富雄南小学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>・地域の環境を活かした教育活動や、多くの人々とのふれあい体験活動である「チャレンジタイム」を通して、児童は生活している地域に関心を持ち、主体的に学ぶ姿勢を身につけることができる。この実践が本校の特色ある教育活動として、地域を愛する心や地域を誇りに思う心、郷土を誇りに思い愛する心を育て、よりよい生き方を追究する力を育てているものである。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>・地域の環境や地域の人々とのふれあいを活かした教育活動・体験を重視した学習を通して、地域に関心を持ち、主体的に学ぶ姿勢を身につける。また、「読書活動」の「ファンタジータイム」を通して、「読む」「聞く」の力と、和楽器等の「音楽体験事業」を通して「表現する」力を、さらに伸ばしていきたい。</p>
<p>取組内容</p>	<p>・図書充実、ボランティアによる朝読書（ファンタジータイム）や絵本の読み聞かせの会などを通して、読書に親しみ、豊かな心と言語力を育てる。 ・地域の方々とのふれあうことで、コミュニケーション能力を高め、生きる力を育むとともに、自ら考え行動できる児童を育てる。</p>



▶三碓小学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校には、知識豊富な子どもたちが多い。しかし、その知識は紙面やネットの中からの情報であることも多い。知識だけでなく、より豊かな感性や創造力、表現力を身に付けていくため、身近な地域に存在する「もの・人・こと」を学習材に取り入れていく。「実物に触れる学習」や読書活動を推進するための校内の環境整備も必要である。 ・地域の方々の協力を得て、「体験を通したモノづくりへの興味関心の高まり」「様々な人とふれあう楽しさ」「地域・郷土愛の芽生え」という成果が見られつつある。そのため、今後も実物に触れる（実際にやってみる）体験活動、地域の方々と触れ合う体験活動を取り入れていく必要がある。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●みずから学ぶ子・・・しっかり考える 自分の考えをもち、相手にわかるように表現する子 ●とことん学ぶ子・・・やりきる 最後まであきらめず責任をもってやりきる子 ●つながり学ぶ子・・・思いやる 様々なつながりの中で思いやりがあり、人のために行動できるやさしい子
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境の整備や地域の方と連携した実物に触れる体験活動を通して、子どもたちの探究心を高め、豊かな想像力を育み、創造力を広げる。 ・心とむ学習環境を整備し、児童の豊かな感性を醸成する。 ・ボランティア活動の経験の場として、慣れた三碓小学校で活動する場を設定し、校内美化などの環境整備事業への参加を促す。



▶富雄南こども園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園では、長時間園で過ごす子どもがおり、心身の負担に配慮した個々への援助や、保護者との連携が大切である。保育無償化に伴い保護者の就労も増え、親子で触れ合う時間がなかなかもてなかったり、戸外で体を思いきり動かして遊ぶ機会が少なかったりする。 ・保護者は、園教育への理解に協力的で教育活動においても熱心である。3歳児から5歳児が在籍した保育を行っていることから、異年齢の姿を見て憧れの気持ちや優しく接する気持ちをもったり、互いに刺激し合ったりしながら、3年間継続した様々な遊びや活動に取り組んでいる。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>○心身共に健康で生きる喜びを感じることでできる子どもの育成をめざして「明るく伸びる 強くなる」幼児の育成を教育目標に掲げていることから、「笑顔で登園し、みんなとなかよくする力」、「自分からすすんで取り組む力」、「最後までやりとげようとする力」を育てる。</p>
<p>取組内容</p>	<p>○ゲストティーチャーを招聘し、『サッカー教室』や『キッズイングリッシュ』『みんなで遊ぼう』などの活動を計画的に行い、英語に親しんだり、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わったりなど、多様な体験を重ねることで、人と関わる力や主体的に物事に関わる意欲を育てる。</p> <p>○『とみなん文庫』の貸し出しや『野の花ぶんこ』の方による読み聞かせ活動に取り組み、絵本やお話など見たり聞いたりすることへの興味関心を高め、豊かな心情を育む。</p>



▶三碓幼稚園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<p>本園は、奈良市西部地域の閑静な住宅地に位置し、都市化された学園地域及び歴史遺産や自然豊かな富雄川沿いに園舎を設けている。近年、土地開発によりマンションや一戸建て住居が増え、令和元年度から学園大和町に一戸建て住居120戸あまりが建設中であるが、園児の増加は見られず園児数は減少傾向にある。幼児を取り巻く今日的課題は「ひと・もの・こと」との関わりが少ない。物事に対する経験・体験が不足している実態がうかがわれる。地域の教育関心度は高い。</p>
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も友達も大切にし、なかまと楽しく遊ぶ ・自分の思いをのびのびと表現する ・自ら考え、意欲的に取り組む
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々や身近な人々との交流 お茶会、高齢者とのふれあい会、お話の会、焼いもパーティー等 ・運動能力、体力を向上させるための取り組み。



▶学園南こども園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児から5歳児までが在園し、保護者は共働きで通勤時間が長い家庭が多く、早朝から夕方までの長時間保育になり、家庭で過ごす時間が短く、時間にゆとりがない家庭が多い。 ・異年齢児が触れ合うことも多く、あこがれを持ったり思いやりの心を持ったり、お互いが影響しあって成長している。 ・生活の様々な場面で便利になっていく反面、自分自身で考えたり動いたりなど、生活経験が乏しくなっていると感じられる。 ・自然体験や全身を使った遊びの経験が少ないため、体力（体幹）の弱さがある。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を十分に動かし、自分の体を調節する力。 ・異年齢児や友達とふれあい、役に立つ喜びを感じながら協力する力。 ・感じたことや考えたことを表現する力。 ・自然に触れて、身近な事象への関心が高まることで深まる自然への愛情。
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に地域の方との交流に取り組み、つながりを広げていく。 ・絵本やお話など見たり聞いたりしてイメージや感性が豊かになる。 ・様々な活動を通して、基礎体力を養い、基礎的な運動能力や体幹を身に付ける。

